

スローガン（目標に向かって、笑顔で今この瞬間を努力しよう） ～あいさつは 心の絆 あいさつで 心を磨きます～



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成30年3月号②】

春の暖かさが感じられる季節になりました

《重点目標》『品格を備え、課題を持って今の自分を高めよう』

第3学期を振り返って「実り多い冬期」でした

いよいよ第3学期を締めくくる終業式が3月23日（金）に行われます。この第3学期は新体制の下、生徒会で3つの習慣を呼びかけ、日々活動を展開しました。先月2日行われた新入生説明会では、生徒会の発表や各部の部長より、学校の様子や部活動の紹介を立派に行うことができました。

今年度最後の「車輪梅」になりますが、保護者の皆さまや地域の方々にはこの1年間、本校の教育に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。ご支援に深く感謝申し上げます。

【本校同窓会役員会 & 同窓会入会式の実施】

本校の鹿島中学校同窓会役員会を3月12日（月）昼頃から行いました。ご多用中にもかかわらず、宮田弘幸同窓会会長さんはじめ、役員の方々にご出席いただき、本校の今年度の活躍等をご報告することができました。協議内容は、生徒の活躍や会計報告、並びに同窓会入会式の運営について話し合われました。

同窓会入会式では、同窓会会長様より、ご挨拶を頂戴し、本校卒業のお祝いと同窓会入会の歓迎をしていただきました。

【県立Ⅱ期選抜 終わる】

3月8日（木）、県立高等学校Ⅱ期選抜の検定試験（5教科と面接）が各高等学校で行われました。

（2日目に面接の学校もありました。）

今年度は、一部の高等学校で学級減されたため、Ⅱ期の選抜にその影響がどの程度出るのか心配されました。相馬地方の高等学校Ⅱ期の平均倍率が若干高まりましたがほぼ、例年通りの状況に落ち着いたものと考えられます。Ⅱ期選抜の合格発表は、14日（水）に発表されました。

特に、2年生は今後とも気を引き締めて来年の今に備えてほしいものです。

【主役の88人、それぞれの成長】

この3年間の成長を3月13日（火）に確認し合い、88名の卒業生は、多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、学び舎から洋々たる未来に向けて巣立っていきました。この子供たちは、入学時のあどけない姿から卒業時のりりしい姿に大きく成長しました。また、卒業生は、学校生活の中で、ときには友人とぶつかりながら切磋琢磨し、学校行事に一生懸命取り組みながら、自分を磨き、学年として成長してきました。卒業式では、呼名の返事、卒業証書の授与、式歌、別れの言葉などでその成長の過程をしっかりと確認できました。

憧れの先輩・卒業生になるため“志を新たに”

【年度末・年度始め中の事故防止に、ご協力のお願い】

年度末・年度始め中は、何かと気忙しい毎日を過ごしがちになります。部活動などの活動を終えた後、帰宅途中での交通事故、解放感から心浮かれて生徒同士で遊び、事件や事故に巻き込まれることが心配されます。また、中学生の自転車による事故が県内各地で心配されています。

日々子どもたちの安全確保のためにご協力をいただいている保護者や地域の皆さまからも、事故防止に向けてお声掛けいただきますようお願い申し上げます。

【読書のすすめ】

～読書は、語彙力や論理性、創造性を高めます～

「雨鱒(あめます)の川」

（川上健一 集英社文庫）

主人公は小学校2年生の男の子と女の子。少年は勉強はさっぱりできない。だが絵を描くことと魚を捕ることにかけては天才的だ。少女は耳が不自由で他人とうまく会話ができない。だがとても心の優しい子どもだ。そんな二人を周りの人は「馬鹿っ子」とあざけり笑う。しかし二人は深く心を通わせていた。そして10年後、少女は美しい娘になり、少年もまた純朴で芯の強い若者に成長した。だが大人の思惑で二人の仲は無慈悲に裂かれそうになる。果たして二人の美しい純愛は成就するのだろうか。心の奥深いところにずしーんと響いてくる感動的な作品である。最後の10ページは涙なくしては読めないので、ぜひハンカチかタオルを手元に用意してから読みたい。